

vol. 2303

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)

## 今号の掲載内容 (掲載順)



- 人勤期中央行動
- 「今、学校が大ピンチ！」日教組働き方改革中央集会
- 退職者慰労会
- 「日教組養護教員部研究集会」に参加して
- 九協第30回高校教育シンポジウム

\*\*\*\*\*

## 人勤期中央行動 とき 7月26日(水) ところ 日比谷公園大音楽堂



7月26日、今年の人事院勧告にむけ、公務員連絡会は人勤期要求実現にむけ人事院職員福祉局長・給与局長と交渉しました。交渉に合わせ、全国から1,500人が集結し、4年ぶりとなる人勤期中央行動を実施しました。大分高教組からは3名が参加しました。日比谷大音楽堂で中央集会を開催し、その後、霞ヶ関を一周するデモ行進と人事院交渉支援行動を行いました。昨年度は若年層のみの賃上げだったので、



今年度はすべての職員の賃上げを最重要課題とし、「すべての職員の賃金を上げる!」「長時間労働を是正しろ!」「非常勤職員の待遇を改善しろ!」と、猛烈的な暑さに負けない熱いアピールをしました。

## 「今、学校が大ピンチ!」日教組働き方改革中央集会 とき 7月27日(木) ところ 全電通労働会館ホール

7月27日、「今、学校が大ピンチ!」日教組働き方改革中央集会が行われ、大分高教組からは4名が参加しました。尾木直樹さんやEI (Education International) 会長からのメッセージや、現場代表2名の先生の報告等がありました。持続可能な学校のための7つの提言が提唱され、集会アピールを採択し、「学校の働き方改革と持続可能な学校の実現をめざそう!子どもたち・保護者・地域と学校について語りあおう!」と参加者全員で声を上げました。



## 退職者慰労会

とき 7月30日(日) ところ 豊泉荘

7月29日、別府豊泉荘にて昨年度退職した方々の慰労会を開催しました。感染症対策として昨年度実施できず、この日の開催となりました。退職者、とはいえ現場で活躍されている方が多くいらっしゃいます。高教組に入った当時のことや現在の家庭や職場での様子など、色々なお話を聞かせていただきました。

デジタル化が進む世の中ですが、最後に辿りつくのはやはり「人と人との繋がり」なのだ、このような会に参加するたびに感じさせられます。

皆さん、お元気そうで何よりでした。今回、ご都合で参加いただけなかった先輩方も含め、高退教の総会等でお会いできるのを楽しみにしております。

みなさま、これからもどうぞお元気で過ごしてください。

## 「日教組養護教員部研究集会」 に参加して

とき 7月29日(土)～30日(日) ところ 新潟県湯沢町

7月29日～30日、新潟県湯沢町で開催された日養研に、養護教諭部より2人で参加しました。分科会で講師の伊藤優子さんが「養教は感染症問題から離れられない。患者の人権は無視され、公衆衛生ばかりに目が向いてしまう。」と語った言葉が、耳に残ります。昨今の新型コロナ対策に翻弄されてきた私たち・学校のその対応に、間違いはなかったか。人権は守られていたか。今後も続く感染症対応を「今一度見直していきたい」と感じた会でした。

(養護教諭部 さくらの杜高等支援分会 薬師寺 志保)

## 九協第30回高校教育シンポジウム

とき 8月1日(火)～2日(水) ところ 福岡県教育会館

第30回高校教育シンポジウムが、8月1日～2日に福岡県で開催されました。「山積する教育問題の解決と、憲法と子どもの権利条約の理念の実現をめざす高校教育改革」をテーマに、九州各県の高教組組合員が集い、高校教育の課題について2日間議論をしました。

全体会では、日教組中央執行委員の中谷正史さんが、「高等学校教育改革について」や「観点別評価、指導要録・進学用調査書の改定・電子科等について」等、高校教育についての情勢や課題について報告をしました。その後、分散会で3会場に分かれ、レポートをもとに議論をしました。大分高からは、第1分散会で畑野新司さん(中津北分会)が『教科「情報」をとりまく状況』と題して報告をしました。2日目は分散会后、閉会行事を行い、各分散会の司会者から分散会の様子や議論した内容について報告がありました。最後に、来年開催県の熊本高教組より挨拶があり、集会を閉じました。

参加した組合員のみなさん、お疲れ様でした。

## 分散会テーマおよび参加者感想

### 【第1分散会】

報告県	レポート名
熊本	『「定時制・通信制の灯を消すな」集会で伝えたいこと』
沖縄	『沖縄県内高校生の地元進学志向の高さ～島から出ることへの精神面と経済面のハードル除去へ向けた取り組み～』
大分	『教科「情報」をとりまく状況』

#### 〈参加者感想〉

○今回初めて「高校教育シンポジウム」にリポータとして参加させていただいた。レポートの内容は共通教科「情報」の変遷と共通テストに向けた授業担当者の思いであった。現高校2年生が受験する共通テストに新しく教科「情報」が導入され、受験生の負担が増す、担当者不足による公平性の欠如など多くの問題があることを考慮すれば、導入は時期尚早という意見が多い。一方で、さまざまな教育活動に取り入れられた「情報活用能力」を評価し大学教育に繋げることも大事であるという意見もある。GIGA端末やChatGPTによる教育の変化を受け、学校で学ぶ生徒の不安を解消するためには、更なるカリキュラムマネジメントの発展と専門性を備えた教員の採用が必要である。情報科という狭い教科の中だけで問題は解決しない、教科を超えた繋がりを大切にしたいと感じた2日間となった。  
(中津北分会 畑野新司)

○熊本高・沖縄高・大分高からのレポートを基に討議しました。どの実践も示唆に富む内容で、2日間じっくり討議する中で経験や専門性に裏打ちされた数多くの知見に触れ、教育課題の捉え方・考え方を学ぶことができました。また、成熟した和やかな討議の流れに安心感と心地よさを覚えました。  
(新生支援分会 小池加寿子)

\*\*\*\*\*

### 【第2分散会】

報告県	レポート名
鹿児島	『後輩たちには同じ思いをさせたくない』
宮崎	『タブレット端末購入に関わる諸問題』
福岡	『夜間定時制へのニーズを把握するために』

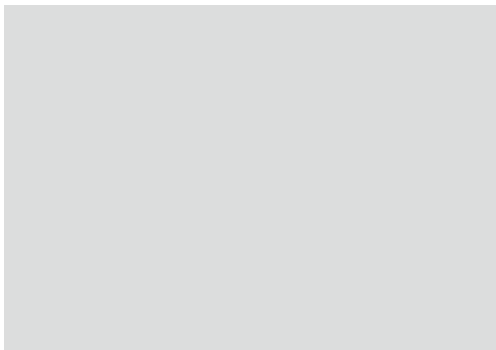
#### 〈参加者感想〉

○第2分散会では、鹿児島高から一部の学校の進路指導の実態として、違反質問に対して企業との信頼関係の維持を重視するあまり対応が遅れるなどの事例、学校単独の対応から情報を共有して連携して対応することの必要性について報告があった。宮崎高はタブレット端末購入の各県の整備状況の比較や問題点について論議され、公費での購入がベストと再確認した。大分県も26年の更新に向けBYOD（個人購入）へ動きつつある状況であり、今後の動向への注視が必要と思われる。福岡高は夜間定時制において、毎年の新採用の赴任により平均年齢が低くなっているとともに、積み上げてきた定時制のとりくみが失われつつある実態が報告された。各レポートについて活発な意見交換が行われ、レポート以外の幅広い事柄についても各県の状況や問題について共有することができた。久しぶりの参加で、九協の仲間のつながりを感じることができ、とても充実した集会であった。

(別府支援分会 姫野茂幸)



○「就職試験で違反質問を受けた子どもの思い」のレポートを通じて、高進協や進保協との連携、労働局やハローワークなどの外部機関とのつながりを保ち続けることで、企業と学校がイーブンな関係でいることができ、子どもが就職後も適切な職場環境のもと働き続けられることが確認できた。とはいえ、時に外部機関とのつながりは何年間もかけて何度も担当者に働きかけることでやっと実現の運びとなることもあり、校内で組織的に継続的にとりくめる環境作りの大切さを改めて認識できる場でした。参加できてよかったです。 (大分舞鶴分会 山野寿美)



\*\*\*\*\*

**【第3分散会】**

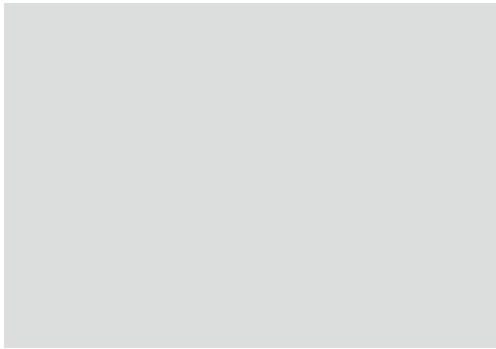
テーマ
『情報化社会の教育・学校図書館』 各県持ち寄りのレポート等をもとに議論

**〈参加者感想〉**

○今回は初参加でしたが、貴重な経験をさせていただきました。自分に発言の機会があるような催しなのかも分からないままだったので、思っていたよりフランクに意見交換ができる空気に安心しました。お話しさせてもらうなかで非正規学校司書の不安定な境遇に県を跨ごうと違いはないことを認識すると同時に、自分たち以上に恵まれない環境で働かざるを得ない方々の境遇を知り考えさせられる2日間でした。

目を開く良い機会になったと思います。

(学校司書部 爽風館定時制分会 阿野卓也)

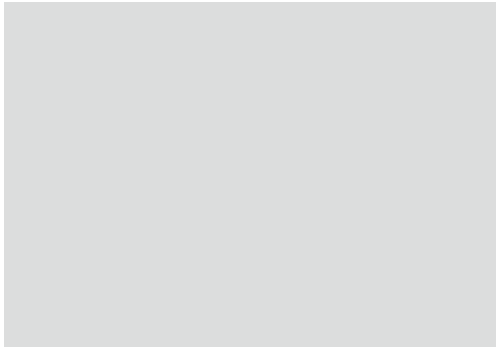


○第3分散会「情報化社会の教育・学校図書館」では、学校図書館や学校司書の各県の状況をあらかじめ調査したものを基に、情勢や課題について交流しました。大分県の状況も決して良いものではありませんが、他県の状況は更に悪化している印象で、特に会計年度任用の待遇の悪さを聞くと、本県がきちんと司書の臨時的任用を勝ち取れて本当によかったと痛感しました。これも組合のおかげだと改めて思います。

また、福岡では司書の事務室勤務が昨年度から始まり、その対策が不十分だったことが影響を及ぼしているようで、大分高教組学校司書部の当時の動き、対策を紹介したところ「学習会に来県して説明して欲しい」と依頼されるほどでした。

今回の参加は組合の意味や重要性を再認識するよい機会となりました。

(学校司書部 杵築高分会 晝間まみ)



○1日目は事前アンケートと、鹿児島からのレポートをもとに、学校司書の採用状況、任用形態、各県が抱えている課題等について報告し、多岐にわたって課題を共有することができました。各県が課題解消に向けてどのようなとりくみをしているのか知ることが大切だと改めて思いました。2日目は昨年度熊本高から提案された「学校司書の定数法位置づけ」に関連して、「日教組三原則」について各県が持ち帰り検討し来年度の九協で報告、継続的に議論を深めていくことを確認しました。学校司書をとりまく状況はどの県も厳しいものがあります。大分でとりくむべきことを確認できる会になりました。 (学校司書部 もう分会 犬塚哲也)

